



ほっかいどうの

林業

お仕事図鑑

木を伐り、育て、未来につなぐ
働く人のリアルを聞くと
イメージできる、やりたくなる



北海道の「森」にたずさわり「人」も育てるシゴト

あなたはドライブの途中で整然と並ぶ林を見たことはありませんか？

木で造られた家具に触れたことは？

毎日触れる紙やティシューも材料は木からできています。

そんな私たちの生活に欠かせない木の供給を行っているのが林業です。

山の中で木を伐りだし、丸太の供給を行うだけでなく、

苗を植え、次の世代の森林を育んでいくことも大事なシゴトです。

そしてそれに従事する『人』も育てています。



この冊子ではあまり知られていない北海道の林業の仕事内容や

実際に働いている人たちの生の声、

林業について知ってもらいたい事や

必要な資格や技能について、

また林業に就きたいときの相談先など

就活に役立つ情報をお伝えします。

「あなたも北海道の林業を支える大事な一人になってほしい」

そんな想いのこもった冊子です。

就職で悩んだとき、転職したくなったとき、

広大な自然の中で働きたくなったとき、

北海道の林業はいつでもあなたを歓迎しています。

Contents

03
06」

林業の1年

07
10」

インタビュー① 北村林業株 土田瑞恵さん
「自然と関わる仕事をしなくて『林業』へ!」

11
13」

インタビュー② (有)スリースターズ興業 塚田翔太さん
「未経験からスタート。
林業の世界に飛び込んだ19歳」

14

伐った木の行き先

15
16」

インタビュー③ エニワ林工株 取締役 枝廣崇夫さん
「若者が林業の面白み・達成感を
感じるための仕事の工夫を。」

17
18」

知っておきたい林業のQ&A

19

林業を支える装備と重機

20

林業に必要な資格や技能

21

相談窓口

22

北海道の暮らしって?

林業の1年

春 Spring

したが 下刈り

植えた苗木はまだ小さく、生長の早い雑草などによって日光が遮られ、生長が妨げられます。そのため、苗木のまわりの雑草などを刈払機で刈り取ります。これを年に1〜2回。そして苗木が雑草に負けないくらいに育つまで5〜8年ほど行います。

雑草を刈り取ると景色が
がらっと変わるので、
その光景が印象的です！

実際にやると、まっすぐ植える
のが難しい！
皆で横並びになって確認し合い
ながら植えていきます。
自分が植えた苗から芽が出ている
のを見ることも嬉しいですよ！

しよくさい 植栽

植え付けともよばれ、春や秋に行います。苗畑で大切に育てられた苗木を、人の手で一本一本、一定の間隔でまっすぐに植えていきます。

私が紹介します！



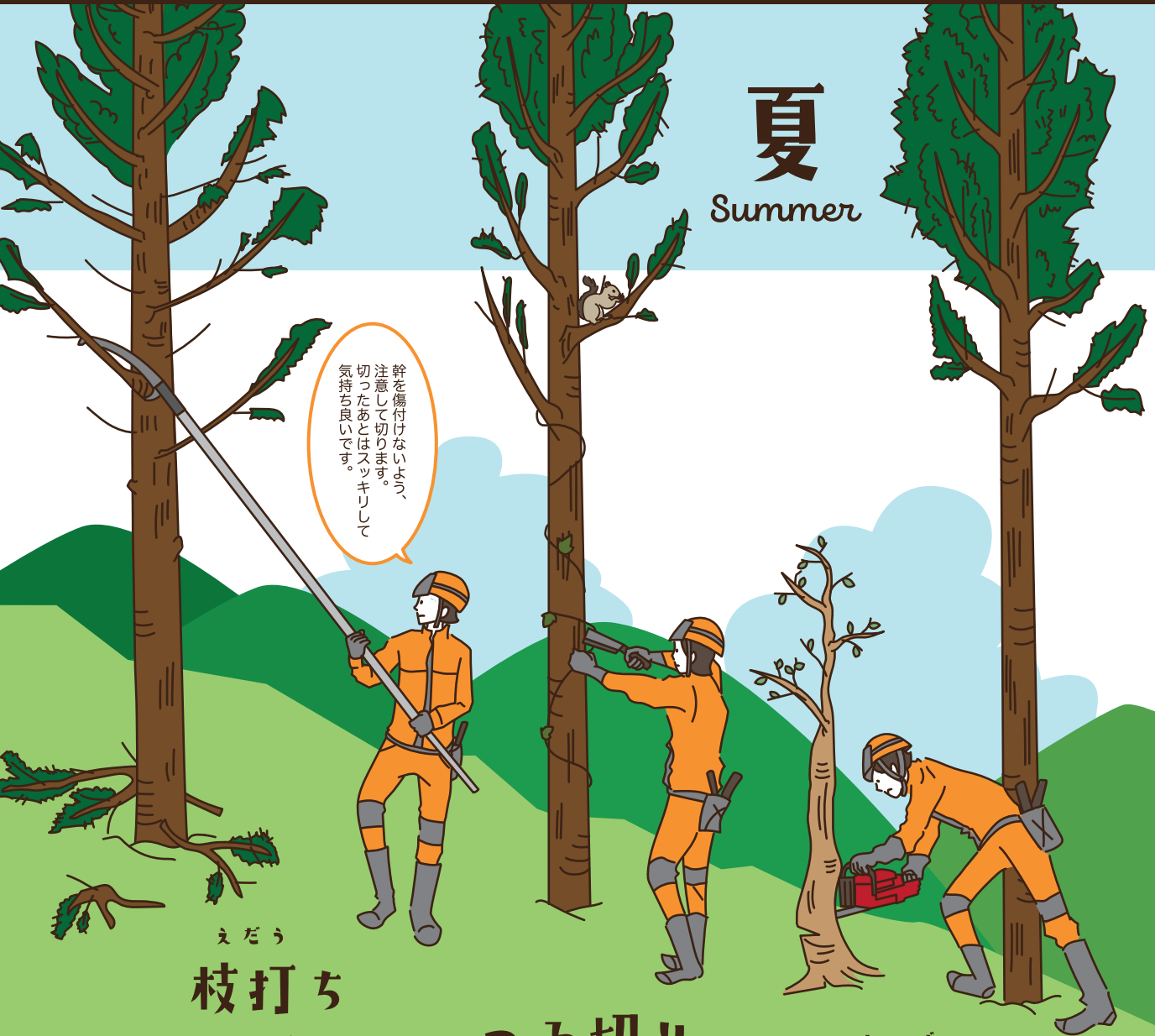
浦幌町の北村林業(株)で働く
入社4年目の
土田さん

しゅびょう 種苗

山に植えられる苗木は、カラマツで2年ほど、トドマツで5年ほど種から畑で育てます。種苗を専門にやっている会社で生産されることがほとんどです。



夏 Summer



幹を傷けないよう、
注意して切ります。
切ったあとはスッキリして
気持ち良いです。

えだう
枝打ち

無駄な枝を付け根付近から鋸などで切り落とす作業です。節の無い良質な木材を生産する目的と、森林内に日光を採り込み生育環境を整える目的で行います。

つる切り

ヤマブドウなどのつる植物が木に絡みつくくと、生長を妨げたり、木の形が悪くなります。木を締め付けたら覆ったりして枯らすことも。そこで、木に絡みついたつる植物をナタなどで除去する作業を行います。

じよばっ
除伐

植えた木の生長を妨げる雑木や、生育の悪い木をチェーンソーなどで伐り払う作業です。

秋

Autumn

かんばつ

間伐

木が生長してくると、森林の中が混み合い、日光が当たりにくくなりお互いの生長が妨げられます。それを避けるため、一部の木をチェーンソーなどで伐採（間引き）し、生長に必要なスペースを確保します。光が差し込んで更に木の生長が進み、根っこが太く丈夫になるため、健全で災害にも強い森林に育ちます。

間引きした木も立派な木材！
工場に運んで活用します。
間伐材としてさまざまな製品
になって皆さんの身近に届け
られています。

散らかっていた地面が
キレイに片づく
と
すごく爽快です！

地ごしらえ

木を伐ったあとの山は、枝葉などの残材が散乱し、雑草も伸び放題！この残材をレーキやグラブプルなどの機械や人力で取り除き、刈払機で雑草を刈り取ります。
次の植栽に備える作業で、春や秋に行います。残材を人の手で取り除く作業は地味で体力がいりますが、ここを丁寧に行っておくと植栽作業が楽になります。



冬 Winter

天気によって作業内容が左右されることもある林業ですが、自分の関わった現場の木が育っていくのを見るのが出来るのも達成感のひとつ！



自分たちが伐採する木は、ずっと昔の先輩方が植えた木。無駄なく伐って大事に使っていかなくては！

幹を傷つけないようにするのが大事なポイントです！

真っ直ぐ切るのは慣れないとなかなか難しく、素早く切るのは熟練の技！

ハーベスタ

しゅばっ 主伐

植えてから40〜50年以上経ち、大きく太く生長した木をようやく収穫するときがやってきました。チエーンソーのほか、ハーベスタなど高性能林業機械で伐採します。伐った後には、再び苗木を植えて次の世代の森林を育てていきます。これを繰り返していくことで、森林資源は未来に受け継がれていくのです。

木を伐採した後は、枝払いと玉切りを行います。

玉切り 枝払い

伐倒した樹木の枝を幹から伐り取り作業。全ての枝を、丁寧に伐り取ります。

直径や曲がり、節、腐れなどを見極めて、用途に応じて一定の長さで切断し丸木にする作業。どう切れば高く売れるか、建築材になるかパルプ材になるか、経験に基づいた判断が問われるところです。

※ハーベスタでは伐採・枝払い・玉切りを一台で行います。

1 自然と関わる 仕事をしたいくて「林業」へ！

十勝エリアの浦幌町にある北村林業(株)で働くのは、入社4年目の土田瑞恵さん(34歳)。札幌市から遠く離れた浦幌町へ移り住み、全くの未経験から飛び込んだ林業の世界で活躍する林業女子です。そんな彼女が林業に惹かれて歩んできた、これまでの道のりについてお話を聞きました。

事務職から転職

近年少しずつ増えてきた林業女子ですが、北村林業(株)の土田瑞恵さんはまさにその先駆け。土田さんは「昔からキャンプへ行ったり、山登りしたり、アウトドアが大好きでした」と話します。

もともとは建設コンサル業の事務職に就いていましたが「自然と関わる仕事をしてみたい」と転職を考え、「林業」に興味を持ちました。

そして札幌にある北海道森林整備担い手支援センターの林業就業支援講習に参加し、チェーンソーと刈払機の資格を取得しました。

この講習で実際に作業を体験し「面白い」と手応えを感じた土田さん。「札幌近郊での採用は男性が多いけれど、十勝・浦幌町の北村林業(株)さんは4月に高校新卒の女性の採用が決まっている」と聞き、ふつふつとやる気が湧き起こります。

早速、就業相談イベント「森林の仕事がイダンス」で北村社長と話したところ、色々なことにチャレンジしている社長の林業に対する考えに惹かれ、応募を決意。そして、見事採用が決定します。札幌を離れ、しかも今までの仕事とは全く異なる林業への転職ということもあり、親からは「大丈夫？」と心配の声もありましたが、土田さんの林業へのチャレンジを「自分で決めたんだから頑張りなさい！」と応援し、背中を押してくれたそうです。

「最初は、男性が多い職場なので不安もありましたが、入社してみたら優しい方ばかりで全然イメージが違いました。仕事を一から教えてくれて、とても働きやすい職場です」